

会議録（平成30年度第1回江府町図書館協議会）概要

【日時】平成30年6月19日（火）

午後10時00分から12時00分まで

【場所】防災・情報センター 1階自主防災室

<会議出席者>

【委員】

佐々木委員長、小林委員、森田哲委員、井上委員、前川委員

欠席 黒見委員、加藤委員 森田隆委員、傘井委員

【事務局】

図書館：長岡司書、道下司書、中島司書、

教育課：川上課長、矢下館長、川上主任

1 開 会 →（事務局進行）会長挨拶

2 報告事項

事務局(矢下) 昨年度の協議会の提言に対する現在の取組み状況

○司書等の増員配置及び資質向上のための環境整備

- ・人員体制については、新庁舎の建築を視野に入れ、今後引き続き協議検討していく。
- ・館長については 4月より専任を設けており、少しずつ改善に向かっていくことを期待している。
- ・司書の研修には積極的に参加できるよう支援している。3人同時に研修を行う際に勤務のカバー等協力している。
- ・今後 新庁舎完成後において 教育委員会及び江府町として、この防災情報センターのあり方を踏まえ、図書館の開館時間、閉館等の体制を検討し、図書館の全体の作業等に有効な方策を検討していく予定。

○人が集まり、学び、つながる図書館づくりを

- ・図書購入費の増額
- ・引き続き、図書購入を続けると共に、貸出規約や収蔵についての改善を図っている。
- ・広報、イベント（農業の講演とのコラボ等）などを通じ、継続的にPRを続ける。
また、様々な年代、業種等に対応できる取組みをチャレンジしていく
- ・図書館の資産を有効に住民に還元していく（除籍のリサイクル等）
- ・いろいろ取組みに対し、開館しながらの現状では準備作業等の時間が確保できない場合が多い為、人員、勤務時間、態勢等について新たなシステムを検討したい。

■報告事項に対する質問等

- ・図書館協議会では、図書館は現在の場所が最適と考えている
- ・災害時に対応できるよう、普段から開いて人が集まるようにしておくことも必要である。
- ・新庁舎に合わせ図書館はどうなるのか。

（課長：図書館、公民館は現在の場所のままで想定されている）

2 協 議

(1) リニューアルについて

(2) 規則の一部変更について

■意見質問

- ・鳥取県図書館では研修の助成事業があるので、職員の研修等に利用してほしい。
- ・図書司書の人材確保が困難である。
- ・人材確保には、職場やある程度の安定した保証が必要である。
- ・5年雇用やNPOの利用また職員として採用者の中で司書を育てる。
- ・絵本の書架が少ない。
- ・学校図書館や整理など時間、人材が不足。県内でも閉館日が無いのは江府町のみである。
- ・規則などの情報を町民に広く、何度も広報する（団体利用ができるのを知らなかった）
- ・貸出無制限は非常に良いが、全国でも延滞者が問題になっている。検討が必要では。
- ・新聞の保存期間が短い。（県をうまく利用する）
- ・雑誌の保存は、種類別の考えをしてもいいのではないか。（種類によって何年ものバックナンバーをそろえることに利用価値が上がる場合がある）
- ・1階にも、大人の本があった方が良いのではないか。
- ・2階への誘導方法を検討された方がよい。
- ・明德学園が毎月2階であるので、大活字本は2階にあった方が良いのではないか。
- ・1階と2階で色々と試してみてもどうか。
- ・貸出無制限は、絵本の貸し出しに効果的と思う

3. その他

①次回 9月25日（火）13:30～

- ・この場所で、図書館機能等どのようにしたらもっとよくなるのか各自研究しておく
- ・協議会として、教育長へ提言していく。

②鳥取県の図書館大会 後日、参加者を事務局が取りまとめる。

③「江府図書館友の会」参加案内、説明。